

Press Release



2021年10月15日

(2021年10月13日米国報道発表資料抄訳)

Okta Japan 株式会社

報道関係者各位

【抄訳】Okta、新しいスタンドアロン製品として機能拡張した Okta Workflows を発表

アイデンティティプロセスの自動化とイノベーションの加速化が可能に

アイデンティティ管理のサービスプロバイダーである Okta, Inc. (本社：米国・サンフランシスコ 以下 Okta) は、本日、Okta Workflows をスタンドアロン製品としてすべてのお客様に提供することを発表しました。Okta Workflows は、ライフサイクル管理機能以外にも、高度なセキュリティオーケストレーションや DevOps など、より幅広いアイデンティティ自動化のユースケースに対応できるようになりました。あらかじめ構築されたコネクタや設定済みのテンプレートに加えて、5つのフローを無料で利用できるオプションが追加されたことで、Workforce Identity (ワークフォースアイデンティティ) や Customer Identity (カスタマーアイデンティティ) のユースケースにおいて、Okta Workflows のメリットをより迅速に実現できるようになりました。Okta Workflows がコーダー (開発者) やノンコーダー (非開発者) のための拡張性ツールキットとして機能することで、あらゆる人が Okta を使ってシステムを構築し、イノベーションを起こすことができます。

Okta Workflows: 優れた顧客体験と従業員体験を支える自動化

Okta Workflows は、世界の多くのトップブランドの複雑なアイデンティティ中心のビジネスプロセスを自動化します。お客様は、セキュリティ、生産性、顧客体験の課題を解決するために、これまで以上にアイデンティティの力を活用できるようになり、ローコードからノーコードまで様々な開発スタイルを選択できるようになりました。特に、[Sonos](#)、[Slack](#)、[Intercom](#)、[Moody's](#) は、Okta Workflows を利用して、拡張性の向上、価値実現までの時間短縮、運用効率の向上、顧客満足度の向上を実現しました。今後は、Okta Workflows を活用して、プロビジョニングやセキュリティ、顧客のプライバシーなど、あらゆるアイデンティティのユースケースを解決することができます。お客様は5つのフローを無料でご利用いただけますが、5つ以上利用する場合はアップグレードすることができます。

Press Release



Moody's（ムーディーズ）のサイバーセキュリティ担当 SVP、ジョージ・クリアン（George Kurian）氏は次のように述べています。「ムーディーズは、何百万人もの人々や投資家がより良い判断を下せるように、財務分析ソフトウェアとサービスを提供するリーディングカンパニーです。我々の業界では、規制はミッションクリティカルなものであり、Okta は我々がセキュリティ目標を達成し、ビジネスと IT の複雑性に関する重要な課題を解決する上で中心的な役割を果たしています。Okta Workflows を利用することで、製品ごとにカスタマイズされたワークフローで複雑なアイデンティティプロセスを簡単に編成することができ、ビジネスのスピードを高め、全体的なセキュリティ態勢を強化することができます。アイデンティティと自動化を利用して重要なプロセスを合理化することで、時間とコストを削減し、全体的なリスクを下げています。」

Jamf と Microsoft Teams 用の構築済みコネクタ、新しい設定済みテンプレート

Okta Workflows は、市場で最も需要の高いクラウドとオンプレミスのアプリケーションやツールとの 7,000 以上の統合からなる Okta Integration Network に支えられています。Okta Workflows 用に新たに開発された Jamf と Microsoft Teams 用のコネクタにより、お客様はトップレベルの生産性と device ops ツールを簡単に統合することができます。また、Okta Workflows 用のテンプレートは、ダウンロードしてそのまま使用することもできますし、組織独自のニーズに合わせて変更することで、よりプラグ・アンド・プレイに近い形で統合することができます。お客様が利用できる新しいテンプレートは以下の通りです。

- **新機能 - 疑わしいアクティビティの警告**：Okta では、エンドユーザーが「不審な活動」と認識できない活動を組織の管理者に報告することができます。報告された不審な活動をタイムリーに調査することは、不正行為の防止と抑止に不可欠です。新テンプレートでは、不審な活動が報告された際に PagerDuty などのツールで自動的にインシデントを作成する例を示しています。
- **新機能 - ドキュメント署名後の条件付きアクセス**：多くの組織では、DocuSign のようなアプリケーションを使用して、機密保持契約（NDA）、リース契約、利用規約（TOS）などの契約を管理し、ユーザーがどのリソースにアクセスできるかを決定しています。このテンプレートは、DocuSign の Webhook を利用して、ユーザーが文書に署名したことを記録し、それによってユーザーがどのシステムにアクセスできるかを決定します。
- **新機能 - プロファイリングによるパーソナライズされたオムニチャネル・エクスペリエンス**：マーケティング担当者は、Okta Workflows を Okta Progressive Profiling や OneTrust Preference Management の機能と組み合わせて使用することで、パーソナライズされたオムニチャネルの顧客体験を提供することができます。拡張が容易なワークフローテンプレートは、Okta Universal

Press Release



Directory のユーザープロフィール属性を、カスタムプリファレンスやトピックのデータ主体のトランザクションとして OneTrust Preference Center に同期します。

Okta の最高製品責任者（CPO）であるディア・ジョリー（Diya Jolly）は次のように述べています。「Okta Workflows は、データ、プライバシー、セキュリティ、カスタマー・エクスペリエンスに関する複雑な課題を解決するための不可欠な手段として、その採用数を飛躍的に伸ばし、お客様に受け入れられています。Okta Workflows が新たに利用可能になり、アクセスしやすくなったことで、誰もがこれまで以上に迅速に、すべてのデジタルタッチポイントにまたがるアイデンティティのユースケースを簡単に構築できるようになりました。さらに、重要な新しいコネクタとテンプレートにより、Okta Integration Network の深さと力をお客様に提供することができます。」

提供時期

Okta Workflows は、スタンドアロン製品として 2021 年 11 月から提供され、新しいコネクタとテンプレートも 2021 年秋から提供されます。Okta Workflows の提供開始についての詳細は、www.okta.com/platform/workflows/ をご覧ください。

Okta について

Okta は、すべての人のアイデンティティとアクセスを安全に管理するベンダーニュートラルなサービスプロバイダーです。Okta が提供するプラットフォーム「Okta Identity Cloud」により、クラウド、オンプレミスを問わず、適切な人に適切なテクノロジーを適切なタイミングで安全に利用できるようにします。7,200 以上のアプリケーションとの事前連携が完了している「Okta Integration Network」を活用して、あらゆる人や組織にシンプルかつ安全なアクセスを提供し、お客様の潜在能力を最大限発揮できるように支援します。JetBlue、Nordstrom、Siemens、Slack、Takeda、Teach for America、Twilio を含む 13,050 以上のお客様が Okta を活用して、職場や顧客のアイデンティティを保護しています。

<https://www.okta.com/jp/>